

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 3 日

事務事業名		富谷山ふれあい公園管理運営事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	040102000805
政策体系	総合計画の施策名	0401 農林業の振興					単独/補助	単独	所属課	050101
	政策名	04	活力ある産業のまちづくり				主要事業			農林課
	施策名	01	農林業の振興				市長マニフェスト		グループ	農林G
	手段名	02	②農業の効率化推進				未来PJ事業			
財務会計上の位置付け							合併建設計画事業			
事業期間										
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度～)			
	01	06	01	09	01	00	岩瀬ふれあい公園管理事業			
法令根拠	期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入									

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 富谷山ふれあい公園(富谷観音駐車場含む)の維持管理業務として、施設の環境整備を行い、地域住民の憩いの場として、安全で快適な空間を提供できるように管理する。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・清掃、園内除草作業及び整地作業業務委託契約 ・土地借上料の支払

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
・清掃、園内除草作業及び剪定、整地作業 業務委託契約 ・土地借上料の支払 ・光熱水費の支払		清掃回数	回	12.00	12.00	12.00	0.00	0.00
		除草回数	回	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00
		剪定、整地回数	回	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
富谷山ふれあい公園(富谷観音駐車場含む)		公園数	ヶ所	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
憩いの場として利用してもらう。		憩いの場として利用している市民の割合	%	18.00	18.00	18.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)			期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	0	0	0		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	1,135	1,052	1,232		0
			事業費計（A）	千円	1,135	1,052	1,232		0
	人件費		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		
			述べ業務時間	時間	32.00	32.00	32.00		
			人件費計（B）	千円	94	94	94		
トータルコスト(A)+(B)			千円	1,229	1,146	1,326			

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)				30年度事業費 予算(千円)			
	13 委託料	430			11 需用費	10		
	14 使用料及び賃借料	622			13 委託料	600		
					14 使用料及び賃借料	622		
合 計				1,052	合 計			1,232

(4) 当該年度の実施内容		30年度の事業内容		31年度の事業内容		32年度の事業内容	
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する							
・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業							

事務事業名	富谷山ふれあい公園管理運営事業	事務事業No.	40102000805	所属課	農林課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

市民の憩いの場として整備された公園を、常に気持ちよく利用していただくために清掃、除草、剪定作業をし維持管理を目的にはじめられた。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

観光地で桜の名所でもあり、常にきれいにしてくださいとの要望が多い。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

イノシシの侵入防護柵やわなによる捕獲対策をすることが考えられるが、観光客や地域住民等、不特定多数の利用者があり、わなや柵の設置は危険が伴うため難しいと思われる。また、敷地も広大で防護柵の設置には多額の費用がかかると思われる。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	
	結びついている	市で整備した公園であり、観光地でもあることから市で維持管理を行うことは政策に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	
有効性	妥当である	市で整備した公園であり、市で維持管理を行うのは妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	
	向上余地がない	桜の時期の利用者はかなり多く、これ以上の成果余地は難しい。
効率性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	
	影響有	公園の維持管理ができず、荒地となり住民や観光客に不快感を与えてしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	
公平性	余地がない	特になし。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	
	削減余地がない	維持管理費であり、これ以上の削減はできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
	公正・公平である	公園が対象であり、誰でも利用可能なので公平、公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性	■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒	イノシシによる植木及び芝生の掘削被害が起きている。 敷地内の除草や剪定は行っているが、山間部でありイノシシの侵入は止められず、今後も被害が出ると思われる。																							
②有効性	■ 適切 □ 見直し余地あり																									
③効率性	■ 適切 □ 見直し余地あり																									
④公平性	■ 適切 □ 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 (複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる		<table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>✕</td></tr><tr><td>低下</td><td>✕</td><td>✕</td><td>✕</td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	✕	低下	✕	✕	✕
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	✕																						
	低下	✕	✕	✕																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 確認